

科目区分：総合科学科目

授業科目名	放射能の光と影				学期	曜日	校時
英語名	Radioactivity influenced on the human society						
担当 教員名	富塚 明 他 4 名	単位数	2 単位	必修 選択	後期	水曜日	1 校時
授 業 の ね ら い ・ 内 容 ・ 方 法							
<p>放射能が発見されて 100 年以上が過ぎた。その間に核エネルギーの発見がなされ、60 年ほど前に原子爆弾として実用化された。これを契機として「放射能」の存在は人間社会に様々な問題を投げかけることになった。この講義では自然現象として存在する「放射能」について、科学的知識を身につけると同時に、それが社会に及ぼしている「光と影」の現実をとらえることを目的とする。</p>							
テ キ ス ト 、 教 材 等							
<p>教科書は使用しない。適宜、プリントの配付をする。 全体の参考図書：安斎育郎『放射能 そこが知りたい』かもがわ出版</p>							
対象学生	成績評価の方法				教員研究室		
全学部	毎回提出する「講義概要」(70%)、教官を指定して提出する「最終レポート」(30%)						
授 業 計 画							
<p>今年度は次の 5 人の教員によるオムニバスの講義を行なう。</p> <p>富塚明(環境)、戸田清(環境)、上谷雅孝(医歯薬)、高辻俊宏(環境)、三根真理子(医歯薬)</p> <p>第 1 回(10月4日) オリエンテーション(富塚) 第 2 回(10月11日) 原子力開発と社会的格差(戸田) 第 3 回(10月18日) 放射能の物理(富塚) 第 4 回(10月25日) 放射線の医療への応用(上谷) 第 5 回(11月1日) 放射線の医療への応用(上谷) 第 6 回(11月8日) R I とその利用(高辻) 第 7 回(11月15日) R I とその利用(高辻) 第 8 回(11月22日) 核エネルギーの利用と核兵器開発(富塚) 第 9 回(11月29日) 放射線の人体への影響(三根) 第 10 回(12月6日) 原爆後障害(三根) 第 11 回(12月13日) 原子力発電のしくみ(富塚) 第 12 回(12月20日) 核燃料サイクルと放射性廃棄物(富塚) 第 13 回(1月10日) チェルノブイリで起きたこと(三根) 第 14 回(1月17日) 人類と原子力(富塚) 第 15 回(1月24日) 予備日</p>							
<p>オフィスアワー(質問受付時間) 火曜日 14:00~16:00</p>							